

目次

[概要](#)

[設定](#)

[設定](#)

[Telco - PRI - GW - FXS - ファクス/モデム](#)

[Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - MGCP - VG224 - ファクス/モデム](#)

[Telco - FXO - GW - H323/SIP - CUCM - SCCP - VG248 - ファクス/モデム](#)

[Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SCCP - ATA186 - ファクス/モデム](#)

[Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SIP - ATA187 - ファクス/モデム](#)

[Telco - PRI - GW - SIP/H323 - CUCM - SIP - ファクス サーバ](#)

[ITSP - SIP - CUBE - SIP/H323 - CUCM - SCCP - VG224](#)

[ATA186 - SCCP - CUCM - SIP - ATA187](#)

概要

このドキュメントでは、ゲートウェイ上に表示されるベースライン設定とともに、シスコのお客様が Technical Assistance Center (TAC) のサービス リクエスト (SR) を開く際に最も一般的に見られる FX/モデム コールのフローを示します。

シスコ デバイスおよびサービス プロバイダーでサポートされるファクス プロトコルの数により、簡単に混乱するあらゆる可能性があります。注意すべき重要な点は、ファクス コールのフローでは、ファクス コールを正常に行うために、VoIP 上のすべてのデバイスが同じファクス プロトコルを利用する必要があります。ファクス プロトコルは、音声コールとは異なり、トランスコードできません。

ファクス コールは、音声コールとして始まり、その後ファクス コールに切り替わります。最も一般的な 2 つのスイッチオーバー メカニズムは、Named Signalling Events (NSE) (シスコ独自の機能) とプロトコル ベースの (標準) スイッチオーバーです。ファクス プロトコルと同様に、スイッチオーバー メカニズムもファクス コールのフローで同じプロトコルを利用する必要があります。

略語一覧

- ATA186 - Analog Telephone Adaptor 186
- ATA187 - Analog Telephone Adaptor 187
- CUBE - Cisco Unified Border Element
- CUCM - Cisco Unified Communications Manager
- FXS - Foreign Exchange Station
- GW - ゲートウェイ
- ITSP - インターネットテレフォニー サービス プロバイダー
- MGCP - メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル
- PRI - 一次群速度インターフェイス
- SCCP - Skinny Client Control Protocol
- SIP - Session Initiation Protocol

- SIP/H323 - Session Initiation Protocol/音声クラス H323
- VG224 - 音声ゲートウェイ
- VG248 - 音声ゲートウェイ 248

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

設定

このドキュメントでは、以下の設定について説明します。

- Telco - PRI - GW - FXS - ファクス/モデム
- Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - MGCP - VG224 - ファクス/モデム
- Telco - FXO - GW - H323/SIP - CUCM - SCCP - VG248 - ファクス/モデム
- Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SCCP - ATA186 - ファクス/モデム
- Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SIP - ATA187 - ファクス/モデム
- Telco - PRI - GW - SIP/H323 - CUCM - SIP - ファクス サーバ
- ITSP - SIP - CUBE - SIP/H323 - CUCM - SCCP - VG224
- ATA186 - SCCP - CUCM - SIP - ATA187

Telco - PRI - GW - FXS - ファクス/モデム

Fax over IP (FoIP) プロトコルが関与することはありません。

Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - MGCP - VG224 - ファクス/モデム

この設定は、パススルー (NSE) と T38 の両方を実行します。

モデム パススルー (NSE) を実行する GW と VG224 の両方の設定は次のとおりです。

T38 を実行する GW と VG224 の両方の設定は次のとおりです。

Telco - FXO - GW - H323/SIP - CUCM - SCCP - VG248 - ファクス/モデム

この設定は、パススルー (NSE) と T38 (NSE) の両方を実行します。 プロトコル ベースのスイッチオーバーは SCCP ではサポートされません。

モデム パススルー (NSE) を行う GW の設定は次のとおりです。

または、ダイヤル ピアに特定の設定がない場合、**voice service voip** コマンドを入力すると、次の情報が表示されます。

モデム パススルー (NSE) を行う VG248 の設定は次のとおりです。

1. [Configure] > [Telephony] > [Port specific parameters] の順に選択し、ファクス機器が接続さ

れているポートを選択します。ファクスリレーを **disabled** に設定します。

2. [Configure] > [Telephony] > [Advanced Settings] の順に選択し、[Passthrough signaling] を [IOS Mode] に設定します。

T38 (NSE) を行う GW の設定は次のとおりです。

または、ダイヤルピアに特定の設定がない場合、**voice service voip** コマンドを入力すると、次の情報が表示されます。

T38 (NSE) を行う VG248 の設定は次のとおりです。

1. [Configure] > [Telephony] > [Port specific parameters] の順に選択し、ファクス機器が接続されているポートを選択します。ファクスリレーを **T.38 peer to peer** に設定します。ファクスリレー ECM を **disabled** に設定します。ファクスリレー NSF を **override with 000000** に設定します。
2. [Configure] > [Telephony] > [Advanced Settings] の順に選択し、[Passthrough signaling] を [IOS Mode] に設定します。

Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SCCP - ATA186 - ファクス/モデム

この設定は、パススルー (NSE) を実行します。

モデムパススルー (NSE) を行う GW の設定は次のとおりです。

モデムパススルー (NSE) を行う ATA186 については、「[ファクスによる Cisco ATA 186 の設定とトラブルシューティング](#)」を参照してください。

Telco - PRI - GW - MGCP - CUCM - SIP - ATA187 - ファクス/モデム

この設定は、パススルーと T38 の両方を実行します。

モデムパススルーを行う GW の設定は次のとおりです。

T38 を実行する GW の設定は次のとおりです。

ATA については、『[SIP バージョン 1.0 対応 Cisco ATA 187 Analog Telephone Adaptor 管理ガイド](#)』を参照してください。

Telco - PRI - GW - SIP/H323 - CUCM - SIP - ファクス サーバ

この設定は、主に T38 を使用しますが、ファクスサーバで確認する必要があります。

T38 を実行する GW の設定は次のとおりです。

または、ダイヤルピアに固有の設定がない場合、この情報は **voicevoice service voip** コマンドを入力すると、次の情報が表示されます。

ITSP - SIP - CUBE - SIP/H323 - CUCM - SCCP - VG224

この設定を機能させるには、VG224 は MGCP GW である必要があります。NSE スイッチオーバーはシスコ デバイスにのみ固有であり、プロバイダーは NSE ベースのスイッチオーバーをサポートしていません。したがって、このコールフローは機能せず、T38 ファクス送信を機能させるには、VG224 を MGCP GW に変換する必要があります。この変換を行った後、関連するファクス送信設定は次に示すようになります。

T38 を実行する CUBE の設定は次のとおりです。

または、ダイヤルピアに特定の設定がない場合、`voice service voip` コマンドを入力すると、次の情報が表示されます。

T38 を実行する VG224 の設定は次のとおりです。

ATA186 - SCCP - CUCM - SIP - ATA187

ATA187 は、NSE ベースパススルーをサポートするために、ファームウェアバージョン 9.2.3 を実行する必要があります。そうでない場合、統合はできません。